

単元の目標 ふろしきの歴史を調べたり、自分たちのふろしきを作ったりする活動を通して、ふろしきには多様な種類や用途があること、今もなおふろしきの良さを広めようと活動している人々の思いや願いを理解し、ふろしきの歴史や文化、生活の発展について考え、伝統的な文化の良さを大切にしようとするようにする。

単元名

単元の評価規準

資料 3

	A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
〽 知って・ 作って・ 伝えよう 〽 ふろしきの良さを伝え隊	<p>①知識 ふろしきには歴史や多様な機能、デザイン性があり、時代と共に用途等が変化していることや、自分たちの生活や環境と関わっていることを理解している。(相互性)</p> <p>②技能 ふろしきの魅力を伝えるために必要な事柄を選んで紹介したり、相手や目的に応じた表現方法を工夫したりしている。</p> <p>③探究的な学習のよさ 生活の発展と昔ながらの道具の良さへの理解は、ふろしきの魅力を継承しようとする人たちの思いと自分たちの体験を関連付けて探究的に学習してきたことの成果であると気付いている。</p>	<p>①課題の設定 布遊びや他教科での学習から、ふろしきと自分たちの関わりについての課題(使い方・作り方・伝え方)を設定するとともに、解決方法を考え解決に向けて見通しを持っている。</p> <p>②情報の収集 ふろしきの歴史、用途や機能、染色方法などを理解するために必要な情報を、目的に応じた方法で収集している。</p> <p>③整理・分析 ふろしきの魅力や使い方を伝える活動、染色活動を進めるために、事象を比較したり分類したり関連付けたりするなどして多様な情報の特徴を捉えながら解決に向けて考え、具体的な内容や活動を決めている。</p> <p>④まとめ・表現 ふろしきの魅力や使い方、染色方法についての自分の考えを相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、適切な方法で表現している。</p> <p>⑤振り返り・知の更新 単元で学習したことを振り返り、次の学習や日常生活につなげて考え、生かそうとしている。</p>	<p>①自己理解・他者理解 「ふろしき」に関心を持ち、自分の生活を見直したり、他者の考えを認めたりしながら、課題解決に向けて取り組もうとしている。</p> <p>②主体性・協働性 自分と異なる意見や考えを生かしながら身近な人と協働して探究活動に取り組んでいる。</p> <p>③将来展望・社会参画 ふろしき文化と生活の発展とのつながりに気づき、さまざまな用途に応じて積極的にふろしきを活用したり、良さを伝えたりするなど、伝統的な文化を大切にしようとしている。</p>